

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 1 月 23 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900010		
法人名	社会福祉法人 本郷福社会		
事業所名	梅菅園グループホーム		
所在地	広島県三原市下北方1丁目8番12号 (電話) 0848-85-0755		
自己評価作成日	平成23年11月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3490900010&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成23年11月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご利用者の方が笑顔で過ごせ、ご家族も気軽に立ち寄れるよう明るい雰囲気を中心掛けています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>梅菅園グループホーム（以下、ホーム）は、賀茂台地を源とする沼田川の豊かな流域に位置し、田畑や自然も残る環境にあります。ホーム周辺は病院や医院、スーパーマーケットがあります。</p> <p>ホームでは、法人理念をもとに独自に「家族的な環境の下で入居者がその有する能力に応じ、自立した生活を営み地域の中で暮らし続ける」という理念を掲げられています。</p> <p>職員全員が「笑顔」と「目配り」を心がけ、入居者一人ひとりに合わせたぬくもりある暮らしを大切にされています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「家系的な環境の下で、利用者がその有する能力に応じ、自立した生活を営み地域の中で暮らし続ける」という理念をケアプランに取り入れるよう努めている。	法人理念を受けて「家族的な環境の下で、入居者がその有する能力に応じ、自立した生活を営み地域の中で暮らし続ける」というホーム独自の理念をつくられています。理念には常に入居者と向き合う立場でありたいという思いが職員全体に浸透し、理念の実践につなげられています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎朝の散歩や買い物の際に積極的に声をかけ、関係作りに努めている。	散歩時の挨拶やゴミ拾い、おしゃべりなど、日常的な交流が図られています。また、ホームの恒例行事となった「足湯まつり」では地域の関係者に、ホームを身近に感じてもらえるよう努めておられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター養成講座講師派遣		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において利用状況、外部評価などの報告や行事等の意見を伺いサービス向上に役立てている。	運営推進会議は2か月に1回開催されています。地域関係者や家族代表者などの幅広いメンバー構成となっています。会議では、ホームからの現状報告の他、外部評価の受審結果も報告するなど、ホームの理解を得る機会とされています。また、会議での協議内容は全職員に報告・共有し、ホームの運営に活かされています。	今後は、地域がホームに何を求めているのか課題の掘り起こしや、よりよいサービスを提供するために意見を出し合える職場環境づくりと共に、実践や取り組み内容をモニタリングされることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進委員会へ出席していただき、行政からの意見も取り入れている。	介護教室などの市事業の積極的な受託など、日常的に市との連携に努められています。また、ホームの「足湯」を活かしながら、積極的に地域の福祉サービスの質の向上に取り組まれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>会議の中で研修やマニュアル等の閲覧が出来るようしている。また、夜間玄関の施錠以外行っていない。</p>	<p>日々、機会を捉えては、身体拘束をしないケアについて話し合っておられます。また、日頃から、場面に応じた言葉かけや傾聴を心がけ、入居者の次の行動を予測して見守りに努められています。地元タクシー会社に応援を依頼し、外出した入居者を捜索する体制も整えられています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>園内研修を実施し、会議の際にも伝えている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられるため、会議において制度の説明を行なっている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、解約時には必ず説明を行っており、都度の問い合わせにも応じている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の方に毎日声かけを行い、希望をお聞きしたり、面会に来られたご家族へ要望をお聞きしている。</p>	<p>運営推進会議には家族代表も出席し、意見を出す機会を設けられています。また、訪問時や電話、行事など、普段から家族等の意見を聞く機会を持ち、運営に反映されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務会議の際に職員の意見を聞き反映させている。また、提案も積極的に取り入れている。</p>	<p>定期的な業務会議やカンファレンスの他、キャリアパス制度を導入されています。管理者は職員のチャレンジ目標の実現を支援し、職員は「ご入居者はどうか」という視点に立って、共に良いホームを築くよう努めておられます。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入し管理者、職員の目標や実績、勤務状態についても把握し、向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>園内研修を受ける機会を多く設け、自発的な研修会への参加が出来るよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同法人職員との研修等の交流を持ち、ネットワーク作りに努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前には必ず来所して頂き、不安に思われている事について聞く機会を設け、いつでも電話でも対応している事を伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	見学、申込み、利用前に来所された際に不安に思われている事や、希望について聞く機会を設けている。また、何度でも来所していただいたり電話でも対応している事を伝えている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	ご本人、ご家族の話を聞き、必要とされている支援と共に、他のサービスについても伝えている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	出来る事、可能な事、得意な事などについて積極的にお願いし、一緒に行なっている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	来所時や、毎月様子を伝えながらご家族の協力をお願いしている。外出、外泊についても希望時にできるように支援している。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	ご近所や知人の来所も積極的に受け入れ、電話の取次ぎも行なっている。	ホームでは、特に家族との絆を大切にされています。入居者がこれまで大切にしてきた家族や友人と電話で会話を楽しんだり、行きつけの理美容院、飲食店に出かけたり、昔ながらの馴染みの人や場所との関係継続を支援されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の関係作りに努め、お互いが係わりながら生活できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された先（病院・特養）への訪問が可能な場合は継続している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々に接しながら希望や意見を引き出しアセスメントしている。また、ご家族にもお聞きしながらご本人の思いを把握するよう努めている。	日々の関わりの中で、言葉や表情、反応などからその人らしく暮らしてもらえるように要望や意向を聞き、状態把握に努められています。アセスメントは「センター方式」を活用されています。日々の関わりを通じて、その人らしく暮らしてもらえるように敏感に行動の意味を察してケアを行っています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人との会話やご家族へお聞きしながら生活歴やなじみの暮らし方を知る機会を作っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	散歩やレクリエーションの参加を希望に合わせて、リビングでも個々に様々な事をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日頃のかかわりの中から得られた思いをご家族に相談しながら介護計画を作成している。</p>	<p>入居者・家族には、日頃の関わりの中で思いや意向を把握し、思いや希望が計画に反映できるよう取り組まれています。また、入居者の状況の変化に応じて、随時見直しが行われ、入居者主体の暮らしを反映した介護計画となるよう取り組まれています。見直しの際には、家族への説明と同意が得られています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の生活を記録し、ケアプラン、体調、認知症についてマーカーを入れ情報を共有しやすく見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入院中、ご家族希望にて必要な物を届けたり、退院に向けた準備をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの受け入れや、行方不明者の対応をタクシー会社をお願いしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用時に希望を伺い、かかりつけ医からの往診を受け入れたり、協力病院への転院の際に紹介状をお願いしている。ご家族と共に受診される場合には体調などを伝える手紙を用意している。</p>	<p>これまでのかかりつけ医の受診が必要な入居者には、継続して受診できるよう支援されています。また、家族対応の場合には、ホームでの生活情報を提供し、職員対応の場合は、受診結果を家族に報告されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	GH看護師、特養看護師、協力病院看護師に相談しながら、適切な受診や対応ができるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時より病院の地域支援室や病棟看護師と連絡をとったり訪問し様子の把握に努めている。通院で可能な場合は、早期退院できるよう体制を整えている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	契約時に重度対応ケア、看取りケア対応指針についてご本人、ご家族の希望を伺うようしている。	契約時に本人・家族に重度化、終末期における支援のあり方について話し合い、方針を共有し、機会あるごとに話し合いの場を設けておられます。また、法人内の他の施設のバックアップが可能な範囲で得られるような体制があります。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	AEDの研修や、救急車要請など職員が率先し訓練している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回、避難訓練している。また、地震や水害時の避難を想定したマニュアルを現在作成している。	母体法人の特別養護老人ホームを避難場所として、災害避難マニュアルを作成されています。12月には、夜間を想定した合同訓練が計画されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の方が話される事を否定せず最後まで聞き、嫌な思いをされないよう努めている。	職員は認知症のために起こるさまざまな症状を理解し、一人ひとりに適した言葉かけが行われています。また、入居者一人ひとりの尊厳やプライバシーを大切にされています。日々の気づきは職員に個別に伝えて改善されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定が出来るよう個々に応じた声かけをし、ご自分の思いや希望を尊重した生活していただけるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	レクリエーション、行事などの参加や食事時間など、ご本人のペースや希望に合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床、入浴後、外出時には化粧等の介助や、毎日の衣類もできるだけご本人に選んでいただいたり、美容院への移送介助も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理の下ごしらえ、後片づけをお願いし、同じ食事を一緒に食べている。嫌いな食材については代替にて対応している。	食事は献立から調理までホームで作られています。職員と入居者が同じテーブルを囲んで、好みの食べ物や味付けのことなどを話しながら、和気あいあいとした雰囲気を楽しんでいる様子が伺えました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日の調理メニューを記録し、バランスを考えている。水分を十分摂れるよう好みの物が飲めるよう用意している。また、口喝の訴えがない方は水分摂取量を記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合わせた排泄ケアをし、失敗のある方には早めの声かけや誘導を行なっている。</p>	<p>トイレでの排泄を大切に考えておられます。自尊心に配慮し，一人ひとりの排泄パターンを把握し，本人の希望に沿った支援に努めておられます。また，自信が持てるよう，やさしい声掛け，見守りが行われています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘になりやすい方について水分摂取量を記録し、食事も配慮している。レクリエーションでも便秘予防の運動等取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日の入浴を基本とし、本人のリズムにあわせて入浴を促している。</p>	<p>入浴は無理強いしないよう配慮し，入居者のその日の希望を確認して入りたい時に入浴できるように，一人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援をされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>消灯時間を設けず、本人のペースに合わせて臥床していただき、起床も希望に合わせている。また、日中も本人に合わせて休息してもらっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>用法や用量が理解できるよう薬の説明書をファイルし、個々に応じた服薬介助を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の生活歴や力を活かした役割をもってもらい、得意な事や趣味が継続できるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望時にご家族との外出や外泊、買い物や散歩を行なっている。</p>	<p>入居者がホームに閉じこもることのないよう、その日の希望に沿って買い物に出かけて気晴らしをしたり、散歩の途中で隣接の保育園児と声をかけ合ったりされています。天気の良い日には、弁当等を作ってベランダや庭で小さなピクニックを楽しむ等の楽しみも作ってられます。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人の買い物については支払い能力に応じて外出前に渡したり、レジの前で渡す等の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望時に電話をかけてもらったり取り次いでいる。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	掃除を心掛け、季節感を感じられる工夫をしている。また、ご本人やご家族の作品も飾っている。	ホームの庭では、おやつや弁当、すき焼きパーティー、誕生日パーティーなどを楽しまれています。また、入居者の作成した季節感あふれるパッチワークや花を飾って、明るい居心地良い空間を作っておられます。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	リビング、玄関脇などに椅子やソファを置き、好きな場所で過ごせるよう工夫している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	利用時に、なじみの家具や希望される物を持ってきていただくようお願いしている。	清潔に保たれた居室には、入居者一人ひとりの家具や調度品、思い出の品々が持ち込まれています。家族の写真等も置き、個性豊かで居心地良くゆったりと穏やかに過ごせる空間となっています。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	玄関に椅子を置いたり、トイレの場所を分かりやすく配慮している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「家系的な環境の下で、利用者がその有する能力に応じ、自立した生活を営み地域の中で暮らし続ける」という理念をケアプランに取り入れるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎朝の散歩や買い物の際に積極的に声をかけ、関係作りに努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター養成講座講師派遣		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において利用状況、外部評価などの報告や行事等の意見を伺いサービス向上に役立っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進委員会へ出席していただき、行政からの意見も取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>会議の中で研修やマニュアル等の閲覧が出来るようしている。また、夜間玄関の施錠以外行っていない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>園内研修を実施し、会議の際にも伝えている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられるため、会議において制度の説明を行なっている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、解約時には必ず説明を行っており、都度の問い合わせにも応じている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の方に毎日声かけを行い、希望をお聞きしたり、面会に来られたご家族へ要望をお聞きしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務会議の際に職員の意見を聞き反映させている。また、提案も積極的に取り入れている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入し管理者、職員の目標や実績、勤務状態についても把握し、向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>園内研修を受ける機会を多く設け、自発的な研修会への参加が出来るよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同法人職員との研修等の交流を持ち、ネットワーク作りに努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前には必ず来所して頂き、不安に思われている事について聞く機会を設け、いつでも電話でも対応している事を伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	見学、申込み、利用前に来所された際に不安に思われている事や、希望について聞く機会を設けている。また、何度でも来所していただいたり電話でも対応している事を伝えている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	ご本人、ご家族の話を聞き、必要とされている支援と共に、他のサービスについても伝えている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	出来る事、可能な事、得意な事などについて積極的にお願いし、一緒に行なっている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	来所時や、毎月様子を伝えながらご家族の協力をお願いしている。外出、外泊についても希望時にできるように支援している。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	ご近所や知人の来所も積極的に受け入れ、電話の取次ぎも行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の関係作りに努め、お互いが係わりながら生活できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された先（病院・特養）への訪問が可能な場合は継続している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々に接しながら希望や意見を引き出しアセスメントしている。また、ご家族にもお聞きしながらご本人の思いを把握するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人との会話やご家族へお聞きしながら生活歴やなじみの暮らし方を知る機会を作っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	散歩やレクリエーションの参加を希望に合わせてたり、リビングでも個々に様々な事をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日頃のかかわりの中から得られた思いをご家族に相談しながら介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の生活を記録し、ケアプラン、体調、認知症についてマーカーを入れ情報を共有しやすく見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入院中、ご家族希望にて必要な物を届けたり、退院に向けた準備をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの受け入れや、行方不明者の対応をタクシー会社をお願いしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用時に希望を伺い、かかりつけ医からの往診を受け入れたり、協力病院への転院の際に紹介状をお願いしている。ご家族と共に受診される場合には体調などを伝える手紙を用意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	GH看護師、特養看護師、協力病院看護師に相談しながら、適切な受診や対応ができるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時より病院の地域支援室や病棟看護師と連絡をとったり訪問し様子の把握に努めている。通院で可能な場合は、早期退院できるよう体制を整えている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	契約時に重度対応ケア、看取りケア対応指針についてご本人、ご家族の希望を伺うようしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	AEDの研修や、救急車要請など職員が率先し訓練している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回、避難訓練している。また、地震や水害時の避難を想定したマニュアルを現在作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の方が話される事を否定せず最後まで聞き、嫌な思いをされないよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定が出来るよう個々に応じた声かけをし、ご自分の思いや希望を尊重した生活していただけるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	レクリエーション、行事などの参加や食事時間など、ご本人のペースや希望に合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床、入浴後、外出時には化粧等の介助や、毎日の衣類もできるだけご本人に選んでいただいたり、美容院への移送介助も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理の下ごしらえ、後片づけをお願いし、同じ食事を一緒に食べている。嫌いな食材については代替にて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日の調理メニューを記録し、バランスを考えている。水分を十分摂れるよう好みの物が飲めるよう用意している。また、口喝の訴えがない方は水分摂取量を記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合わせた排泄ケアをし、失敗のある方には早めの声かけや誘導を行なっている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘になりやすい方について水分摂取量を記録し、食事も配慮している。レクリエーションでも便秘予防の運動等取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日の入浴を基本とし、本人のリズムにあわせ入っていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>消灯時間を設けず、本人のペースに合わせて臥床していただき、起床も希望に合わせている。また、日中も本人に合わせて休息してもらっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>用法や用量が理解できるよう薬の説明書をファイルし、個々に応じた服薬介助を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の生活歴や力を活かした役割をもってもらい、得意な事や趣味が継続できるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望時にご家族との外出や外泊、買い物や散歩を行なっている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人の買い物については支払い能力に応じて外出前に渡したり、レジの前で渡す等の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望時に電話をかけてもらったり取り次いでいる。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	掃除を心掛け、季節感を感じられる工夫をしている。また、ご本人やご家族の作品も飾っている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	リビング、玄関脇などに椅子やソファを置き、好きな場所で過ごせるよう工夫している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	利用時に、なじみの家具や希望される物を持ってきていただくようお願いしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	玄関に椅子を置いたり、トイレの場所を分かりやすく配慮している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 梅菅園グループホーム

作成日 平成 24 年 2 月 14 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在, 地域のニーズを把握する機会がほとんどなく, 運営推進会議でも報告が中心となっている。	地域から求められているニーズを把握し, グループホームの運営に活かす。	まず, 地域代表として運営推進委員会の方にグループホームに求められている事を会議の中で聞き, 今後の取り組みに活かす。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。